

デジタル化の推進に係る事業の実施

デジタル化推進委員会の発足

近年、生産年齢人口の減少により、我々モノづくり業界は、労働力の確保が年々厳しくなっております。生産性の向上を図るため、より付加価値の高い製品の製造や業界全般の効率化を進めるシステムの開発などに、日進月歩のデジタル技術の活用が求められております。

そこで、会員企業のデジタル化を加速するため、各企業の取り組みなどを調査・学習し、最適な方策を提案することによって、会員企業の開発を側面援助する目的で「デジタル化推進委員会」が発足されました。

今後は、委員企業を講師とし、勉強会・講座を開講し、事務部門の合理化や製造現場の省力化等に関する内容を取り組んでいきます。

第1回デジタル化推進サポートスクール（Web同時配信）

開催日：令和3年9月22日(水)

会場：石川県鉄工会館 2階 会議室

テーマ／講師：「企業のIoTを進めるうえで必要な取り組み事例」

中村留精密工業(株) 管理本部長 深山 泰輔 氏

「いざという時の備え今始めませんか？ BCP 対策の重要性」

(株)石川コンピュータ・センター 牧野 聖 氏



総参加者：52名

冒頭、石野委員長は挨拶で、「我々ものづくり業界でも、デジタル技術は重要であり、今後、労働人口の減少の観点からも鍵となる。この度、新たに発足したデジタル化推進委員会では、委員の方々に講師を務めていただき順次セミナーを開催する。会員企業の皆さんに是非この機会をご活用いただき、自社の事業にお役立ていただきたい。」と述べられました。

講演では、深山氏からは自社でのデジタル化の取り組みについてご説明頂きました。デジタル化を進めるにあたり、「見たいものは何なのか？」「何を改善したいのか？」「ゴールはどこなのか？」など自分たちがかなえたい姿を事前に決める事が大事と仰っておりました。

牧野氏はBCP対策における緊急時のデータバックアップの重要性について、台風被害で浸水した病院がデータバックアップのおかげですぐに復旧できた事例等をもとにご紹介いただきました。

次回以降の予定

研修②	10/26(火)	テーマ③	COVID-19によって様相を変えた働き方改革 ～その本質と、いま企業に求められる対策とは?!～
		テーマ④	社内決済システムのペーパーレス化
研修③	11/9(火)	テーマ⑤	営業活動記録の見える化（初級）
		テーマ⑥	社内情報共有基盤について・・・グループウェアのご紹介・・・
研修④	11月下旬	テーマ⑦	RPAを活用し「生産性向上」「働き方改革」に取り組みませんか？
		テーマ⑧	新たな働き方を支える企業ネットワーク
研修⑤	12月下旬	テーマ⑨	新たな働き方がBCP対策を支える理由
		テーマ⑩	サイバー攻撃のリスクとその対策について
研修⑥	1月頃	テーマ⑪	工場内設備の稼働状況の見える化（工場見学）
研修⑦	2月頃	テーマ⑫	カメラシステムを中心とした中小企業のIoT（工場見学）

県・市町への要望の成果

県9月補正予算で産業展示館1・2・3号館改築のための調査費が成立

かねて、業界振興懇談会や1月の県予算要望の際にお願いしておりました、産業展示館の改築について、産業展示館等の建て替えを含む西部緑地公園の再整備のための調査費1千万円が県9月補正予算で成立しました。

貸与利率が大幅に引き下げ 2.75%→1.1%又は1.6%

県に続いて市町の「延払による機械設備貸与制度」が改正され、貸与利率が大幅に引き下げられました。ぜひご利用下さい。

主な改正点

1. 貸与利率の大幅引き下げ
2. 県・市町による利子補給

貸与利率1.1%では、実質負担金利は0.6%以下となります。

貸与利率			1.1%	1.6%
利子補給	市町	利子補給率	0.5%・0.85%	1.0%～1.6%
		利子補給期間	7年間	3年間・4年間・7年間
		1社上限額/年度	30万円	35万円・45万円・60万円
	県	利子補給率	0～0.75%	

*利子補給とは、企業が負担した貸与料の一部を、県市町が補助する制度です。
*市町の利子補給は、設備を設置する工場の場所により決まります。
*県の利子補給は、小規模、過疎準過疎、経営革新等の条件適合により決まります。

3. 連帯保証人原則1名
4. 中古機械設備も対象（条件あり）
5. 1企業原則1件貸与限度額6,000万円
6. 償還期間7年以内

詳細については、事務局にお問合せください。

協会トピックス

自動化・省力化推進研究会（Webセミナー）

<第1回>

開催日：令和3年9月2日(木)

参加者：92名

テーマ：「6軸ロボットによる加工の可能性について」

講師：KUKA Japan(株) 代表取締役社長 大田 紘 氏

第1回目の研究会では昨年度に続きWebセミナーとして開催し、多くの会員にご参加いただきました。今回はロボットメーカーから見る自動化について、KUKA Japan(株)様に同社の取り組みをご紹介いただきました。

KUKA Japan(株)様ではロボットに物を運ばせるだけでなく、ロボットに工具を取り付けて直接加工する新たな加工方法を提案しており、KUKA CNCというロボットコントローラーにNCプログラムを直接読み込んで加工動作が実現できる機能を提供することで、高精度な加工を実現しています。マシニングセンターと比較すると初期費用は半値以下に抑えることができるため、今後の選択肢に入ってくると考えられます。

令和3年度第1回国際委員会

開催日：令和3年7月13日(火)

開催場所：石川県鉄工会館 2階 会議室

今年度事業の実施状況の報告や、各委員の海外等におけるビジネス環境の報告と、7月26日から開始の海外渡航用「ワクチンパスポート」制度の概要説明を行いました。

また、今回特別ゲストとして、北國銀行ベトナム事務所の水口所長とバンコク駐在員事務所の砂塚所長にオンラインで参加していただき、ロックダウン真っ只中のホーチミン、及びバンコクの現況をレポートしていただきました。特に、ベトナム政府の厳しい対応として、移動制限により従業員が工場敷地内にテント生活を余儀なくされたことなどについて、報告していただきました。

トップが語る石川の産業の魅力（共催：ジョブカフェ石川）

開催日：令和3年9月16日(木)

場 所：石川県立津幡高等学校

参加者：124名（1年生）

講 師：石川可鍛製鉄㈱ 代表取締役社長 塩谷 栄治 氏

「とりあえずやってみる 評論家ではダメ」と題して講演が開催されました。塩谷社長は、自ら考えて行動することの大切さ、目的・目標を見失わないことなど、生徒に分かりやすくお話しいただきました。

聴講した生徒からは「今後は目標を持ち、責任を持って行動したい」、「問題や悩みを持った時は一人で悩まず相談してひとつひとつ解決し、次の行動に移せるような人になりたい」、「お話しいただいた事をこれからの高校生活でも意識していきたい」などの感想が寄せられました。



令和3年度第1回デザインセミナー（Web同時配信）

開催日：令和3年9月21日(火)

総参加者：14名（8社）

テ ー マ：経営者、企画・設計者のための新製品開発のヒント

講 師：松岡 由幸 氏 慶応義塾大学名誉教授、早稲田大学客員教授、デザイン塾主宰。日本デザイン学会会長、日本設計工学会副会長、機械工業デザイン賞専門審査委員歴任。

今回は新製品開発の発想のヒントについてお話しいただきました。「発想のためには訓練が必要であり、その本質はユーザーのための哲学・思想を感じるコンセプトである。デザインは「物」の背景にある「考え方」を世の中に提供しているのである。開発のためには物質的な分析にとどまらず、心理的な分析にまで及び、その価値や意味を考えることが必要である。

またデザイナーは、その「物」の気になることだけに焦点を当て、全体的にデザインをする。一方、エンジニアはその「物」の要因をどんどん洗い出してから考えて行く。これでは既存の「物」に縛られ、それを最適化にするにとどまり、新しいものは生まれないので、^{はじ}創めるマインドから極めるマインドで、新奇性と完成度の両立を目指さなければならない。」とのことでした。



令和3年度第1回ビジネスサポートスクール（Web同時配信）

開催日：令和3年9月10日（金）

総参加者：38名

テーマ：「あなたの会社どうしますか？改正高年齢者雇用安定法」

講師：堀内社会保険労務士事務所 所長
特定社会保険労務士 堀内 政徳 氏

令和3年4月1日に「改正高年齢者雇用安定法」が施行され、70歳までの就業確保措置を講じることが「努力義務」となりました。今回は、その改正点や、また定年制廃止や70歳定年引上げに伴うメリットとデメリットを比較整理してわかりやすく解説頂きました。堀内先生の私見として「65～70歳については明確な選別基準を定めて、継続雇用制度（再々雇用）の導入」を推奨するとのことでした。

また、「働き方改革関連法」の罰則規定については、「違反、即罰則の適用は考えにくいですが、是正のための企業の真摯な努力は必要で、罰金以上に、書類送検等でのマスコミ報道に伴い、企業の社会的信用の失墜をより危惧すべきである」とのことでした。



協同組合事務局長会議

開催日：令和3年9月10日（金）

開催場所：石川県地場産業振興センター 本館 第3研修室

参加者：15名

当協会に所属する協同組合の事務局長会議を開催しました。今年度新たに設置されたデジタル化推進委員会が取り組む事業内容と新貸与制度について説明し、組合員への周知をお願いしました。

また、各組合より傘下組員の現況について報告していただき、県内製造業を取り巻く状況について情報共有を行うとともに、第1回ビジネスサポートスクール（Web同時配信）に参加しました。



働き方改革関連法

「働き方改革関連法」は2019年4月より順次施行されています。

有給休暇の対応

- ・「年5日の年次有給休暇の確実な取得」の義務付け
- ・対象者 年次有給休暇が10日以上付与される労働者
- ・年5日の時季指定義務

長時間労働への是正

- ・時間外労働の上限規制 月45時間（年6回以内）、年360時間を原則< 臨時的な場合でも年720時間以内、単月100時間未満（休日労働を含む）、2～6カ月平均80時間以内（休日労働を含む）。>

同一労働同一賃金への対応

雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保

- ・同一企業内において、正規雇用労働者と非正規労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）との間での基本給や賞与などの個々の待遇について不合理な待遇差の禁止や説明義務

対応はお済みですか？

罰則規定が設けられています。お早目の対応をお願い致します。

- 「年休5日間取得」違反 ☞ 「1人につき30万円以下の罰金」
- 「時間外：休日労働上限」違反 ☞ 「6か月以下の懲役、または30万円以下の罰金」
- 「同一労働同一賃金」違反 ☞ 「罰則なし」（ただし、労働局の指導や、裁判などで損害賠償請求の可能性あり）

詳細は厚生労働省「働き方改革特設サイト」をご確認ください。

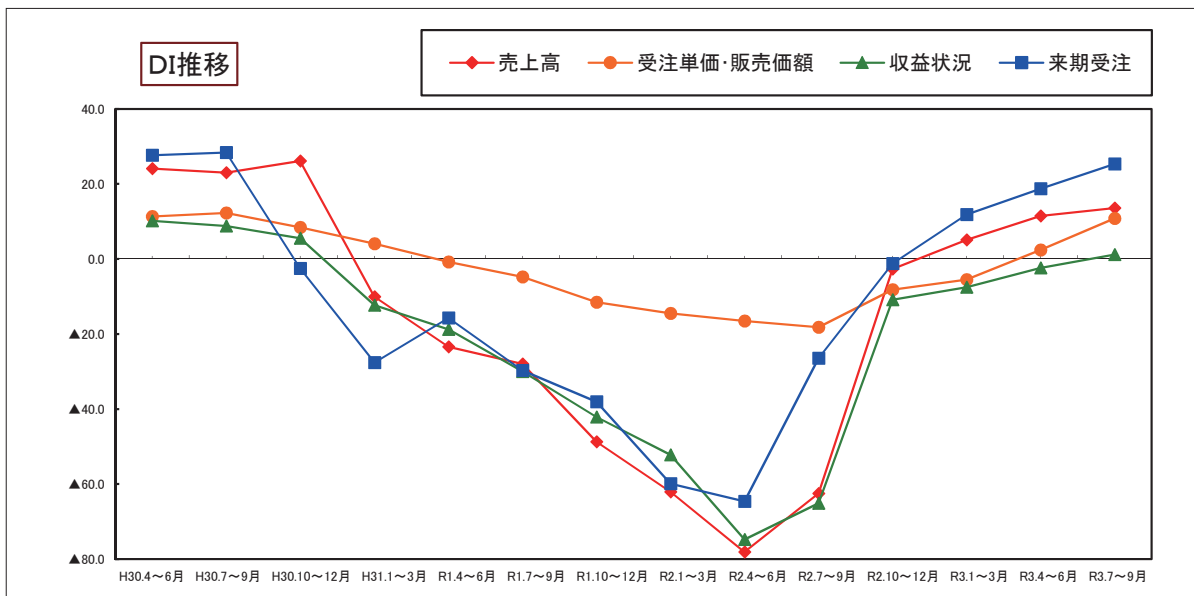


DI調査結果 (令和3年7月-9月期)

概況総括：『景況感は底を脱し、さらなる改善傾向にあるが
部品不足等による生産調整の懸念がある』

【調査概要】

1. 今期（令和3年7月-9月期）の業況調査DI12項目では、「原材料単価」を除く11項目が更に改善して、「売上高」など10項目がプラスとなっている。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」が13.6（前回11.5）と引き続き改善しており、特に建設機械関連が牽引している。一方、急激に上昇を始めた「原材料単価」▲75.0（前回▲67.6）は、原料高や需要増等の影響により更に上昇した。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」3.9（前回▲1.6）、「受注残」9.9（前回▲1.6）、「生産設備」10.1（前回2.5）と、3指標すべてがプラス域に達し、景況感は底を脱した。
3. 来期については、「来期受注」25.3（前回18.7）、「来期採算」7.0（前回1.2）、「来期資金繰」7.0（前回▲4.0）と、さらなる改善傾向となっているが、鋼材等の原材料や半導体等について、入手困難の懸念の声がある。
4. 「企業経営上の悩み」については、経済活動の回復や近年の厳しい新卒採用のため「人材不足」が30.1（前回25.2）と10期ぶりに「受注不安定」に替りトップとなっている。また、「原材料価格」が19.9（前回13.4）と引き続き上昇しており、収益・資金繰りへの不安材料となっている。
5. ワクチン接種の拡大等により、コロナ禍で減少した生産活動が、中国、北米、欧州地域で確実に回復しており、これに伴って「売上高」などが増加してきている。しかしながら、急激な受注回復に伴う、原材料価格の高騰や半導体等の供給不足を招き、生産調整を余儀なくされる懸念が出始めている。



ものづくりマイスター派遣事業

協会では、中小企業の会員の皆さんを対象に、県職業能力開発協会に所属する「ものづくりマイスター」を派遣し、企業内での技術伝承を図る事業を実施しております。

今回はご利用いただいた企業様にご協力いただき、その内容をご紹介します。

株式会社ミモト（白山市）

代表者：河原 良篤

資本金：2,400万円

事業内容：陸用・船用ディーゼルエンジン部品、農業機械部品、GHP
空調機械部品



【研修内容】

数値制御フライス盤技能検定 1 級受験のための技能向上を目的とした実技指導で、一回 3 時間、都合 10 日間の研修を実施。

【受講者のコメント】

技能向上の技術が学べた。独学では合格できないため教えていただいた課題を繰り返し取り組みたい。

【総務課長のコメント】

技能習得のためには基礎学習、反復演習課題の取り組みが必要と思われます。各個人の努力だけでは合格は厳しいため、会社として支援制度は必要でした。今回、ものづくりマイスター派遣により技能向上が図られました。

本制度は、石川県職業能力開発協会「ものづくりマイスター」を派遣いただき、当協会にて行うものです。マイスターの指導は無料となっておりますので、是非ご活用下さい。

令和3年度 研修スケジュールのご案内

「きでんスクール」

No	開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
1	10月8日(金)	製造現場で進めるコスト改善	3,000	30
2	10月22日(金)	組織活性化のための「報・連・相」	3,000	30
3	11月5日(金)	安全活動の進め方	3,000	30
4	11月26日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
5	12月17日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう！	3,000	30
6	1月21日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	3,000	30
7	2月18日(金)	メンタルヘルス研修	3,000	30
8	3月11日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

「技能継承スクール」

No	開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
1	10月19日(火)～22日(金)	旋盤加工応用技術	6,000	12
2	11月9日(火)～10日(水)	計測器管理技術	4,000	5
3	11月16日(火)～17日(水)	精密測定技術（歯車・三針法などの特殊測定）	3,000	12
4	11月24日(水)～25日(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	6,500	10
5	11月30日(火)～12月1日(水)	半自動アーク溶接技能クリニック	7,000	10
6	11月30日(火)～12月3日(金)	フライス盤加工技術（エンドミル編）	7,000	10

※開催日は予定であり、延期または中止となる場合もあります。

※研修は新型コロナウイルス感染予防（検温、消毒、マスクの着用、換気等）に留意し、実施しています。

※ホームページからもお申し込みいただけます。
URL <https://www.tekkokiden.jp>



青年部会だより

石川県工業試験場視察研修会

開催日：令和3年7月9日(金)

参加者：22名

今年度最初の研修会として工業試験場の活用方法や企業連携の事例紹介、施設見学などを行いました。意見交換の場では積極的な意見も出るなど、改めて工業試験場を知る、良い勉強の場となりました。

身近にあるようで、意外と足を運ぶ機会が少なかった工業試験場ですが、これをきっかけに更なる連携の強化を深めていけたらと思います。



◆小林常任理事が金沢市経済活動賞を受賞

「令和3年度金沢市経済活動賞」に当協会常任理事の**小林 靖典 氏**（㈱小林製作所代表取締役社長）が受賞されました。

小林氏は、情報通信技術をものづくりの現場に取り入れるなど、生産性を高め、機械・金属産業の振興に貢献されました。

◆令和3年度プレミアム石川ブランド製品/グッド石川ブランド製品に会員企業が認定

県内中小企業が開発・改良した製品で、特に新規性や独自性が優秀で、ブランド化ができる可能性が高いと認められる「プレミアム石川ブランド」（最優秀賞）、「グッド石川ブランド」（優秀賞）に次の会員企業が選ばれました。

受賞区分	企業名	受賞製品等
プレミアム石川ブランド	㈱北菱	スーパーミニモグプラス（穿孔機）
グッド石川ブランド	㈱ニシムラジグ	アンギュラーテーブル AMT-1525

i 会員情報

令和3年9月15日までに寄せ頂いた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

会社名	新代表者	会社名	新代表者
㈱梶製作所	梶 司郎	天龍工業(株)旭丘工場	五藤幸洋
㈱シコウ	藤井敬士	㈱ネツレン小松	中津 仁
㈱セリオ	峰岸 豊	白山工業(株)	山名一伸
㈱テックキタ	北 周	(有)宮崎鉄工	宮崎靖則
		㈱米沢鉄工所	西川直輝

令和3年度 協会スケジュール

開催日	内容
会 議	
10月26日(火)	総務企画委員会
10月28日(木)	新分野進出委員会
11月2日(火)	人材育成委員会
11月30日(火)	広報・情報委員会
1月27日(木)	正副会長会議、理事会
行 事	
10月15日(金)	第2回自動化・省力化研究会（WEB）
10月26日(火)～29日(金)	FBC上海2021ものづくり商談会
10月28日(木)	新分野進出・環境委員会合同WEB講演会「廃熱の有効利用とカーボンリサイクル」
10月28日(木)～11月30日(火)	T-Messe 富山県ものづくり総合見本市バーチャル展示会
11月16日(火)	新分野進出・環境委員会合同視察会（富山県）
11月22日(月)	第57回従業員功労者・永年勤続者表彰式
11月24日(水)～26日(金)	ロボットSI基礎講座
12月1日(水)	高校教員工場見学会（金沢地区）（共催：石川県教育委員会）
12月2日(木)	高校教員工場見学会（加賀地区）（共催：石川県教育委員会）
12月3日(金)	高校教員工場見学会（能登地区）（共催：石川県教育委員会）
12月7日(火)	工業系高校教員&モノづくり企業との懇談会
1月27日(木)	令和4年新年会員懇親会